

## コース・ユニット制、6年一貫統合カリキュラム

本学医学部では、開学以来、「解剖学」「生理学」「内科学」「外科学」などの「〇〇学、-ology」別に授業科目を設け、各科目の教育を行っていましたが、平成12年にこのような学体系別の科目を廃止し、「6年一貫・統合カリキュラム」として臓器別・系統別に教育内容を配置したコース・ユニット制をスタートしました。平成28年度の1年生より、臨床実習期間の延長や行動科学教育を導入するなどユニットの構成と実施期間を大幅に見直すカリキュラム改革を行いました。令和8年度の1年生より、アウトカム基盤型教育の推進による医師としての資質の確実な修得、診療参加型臨床実習の充実による卒前卒後のシームレスな医師養成の実現、研究マインドの醸成を目的として、再度のカリキュラム改革を行い、新カリキュラムを導入します。

### 6年一貫・統合カリキュラム

卒業時に達成が求められる最終的なアウトカム（学修成果）の達成を目指し、6年間を通じて教育の単位となるコース・ユニットを配置しています。コースは6年間を通じ大きく10種類18にまとめられており、それぞれのコースの中にユニットを複数設置しています。例えば、「良医への道」コースは1年から4年生までそれぞれ「良医への道1」から「良医への道4」と4つのコースとして、複数の学年に配置されています。コース・ユニットには、教育の責任者として、「コースディレクター（CD）」「ユニットディレクター（UD）」、それぞれの補佐（CD補佐・UD補佐）が選任されています。コースディレクター、ユニットディレクターは所属にとらわれず、教育に関して熱意と豊富な経験を持ち、そのコース、ユニットの担当範囲全体を見渡しつつ他の所属の教員も含めて統括できる人材が担当しています。ユニットが担う教育に関する決定権と責任はユニットディレクターが持っています。

1つのコースには、複数のユニットがあり、成績評価はユニットごとに行っていますが、到達目標はコースごとに大きな目標を設定し、それを各ユニットで分担するかたちとしています。例えば、基礎医学領域においては、「細胞生物学」「人体の構造と機能」「病気の基礎」の3つのコースに分け、各コースの中に複数のユニットを置いています。他大学では「解剖学」「生理学」「生化学」として教育される内容は、本学医学部では「代謝系」「エネルギー系」「調節系」「情報系」の4つのユニットで統合して教育されます。4つのユニットではそれぞれの目標がシラバスに明記されており、それらを達成するため、「解剖学」「生理学」「生化学」のなかから必要な関連部分を教育するとともに、臨床系の教員による講義も含めることで、統合的な知識の修得を図っています。また、試験においても、各領域の担当教員が合議の上で試験問題を作成し、様々な分野の知識を統合しないと解答できないような問題が出題されます。このような方式で学修する過程で、「解剖学」「生理学」「生化学」にわたる知識を、自然に統合して身につけることになり、学体系の枠を越えて知識を統合的・多角的に用いる能力を涵養することができます。

## アウトカム基盤型教育、コンピテンシー、マイルストーンとは

### アウトカム基盤型教育

本学医学部では、平成 25 年に 9 項目の卒業時アウトカム（学修成果）を定義し、平成 28 年度実施の新カリキュラムから、アウトカム基盤型教育を採用しています。卒業時にこれらのアウトカムが達成できるよう、6 年間を通じた教育計画を見渡した上で各学年に講義、演習、実習を配置しています。アウトカム基盤型教育は、「学生に何を教えたか」を基盤とはせず、「卒業時に達成しているべき目標が卒業時に達成されていること」を基盤とする教育です。

### コンピテンシー

コンピテンシーとは、卒業時に達成が求められる最終的なアウトカム（学修成果）を個々に評価可能なまでに細分化して具体的に記載したもの、すなわち卒業時に「こうなっている」「これができるようになっている」という具体的な資質能力を示したものであり、学修成果の評価の基準となるものです。本学医学部では、令和 2 年度に医学部コンピテンシーを定め、その達成を目指した教育を行っています。また、医学教育モデル・コア・カリキュラムの改定に伴い、令和 5 年度にもコンピテンシーを改定しました。

### マイルストーン

コンピテンシーは卒業時に達成が求められる最終的なアウトカム（学修成果）ですが、実際にはこれらはある一時点で突然達成されるわけではなく、6 年間をかけて段階的に達成されていきます。コンピテンシーを最終的に達成するまでの過程として、各学年末に達成すべき学修成果を段階的に定義し、達成を評価できるようにした指標がマイルストーンです。令和 2 年度のコンピテンシーの策定にあわせてマイルストーンも決めました。6 年間をかけて全マイルストーンを達成することで、卒業時にコンピテンシーを達成できることとなります。学年ごとにマイルストーンが設定されており、マイルストーンの達成は、その学年で履修するいずれかのコース・ユニットで評価します。達成が不十分なマイルストーンに対しては、その時点で必要な教育を付加的に実施し、次のマイルストーンに進む準備を確実に行うことでマイルストーンの達成を確認します。

### マイルストーン評価

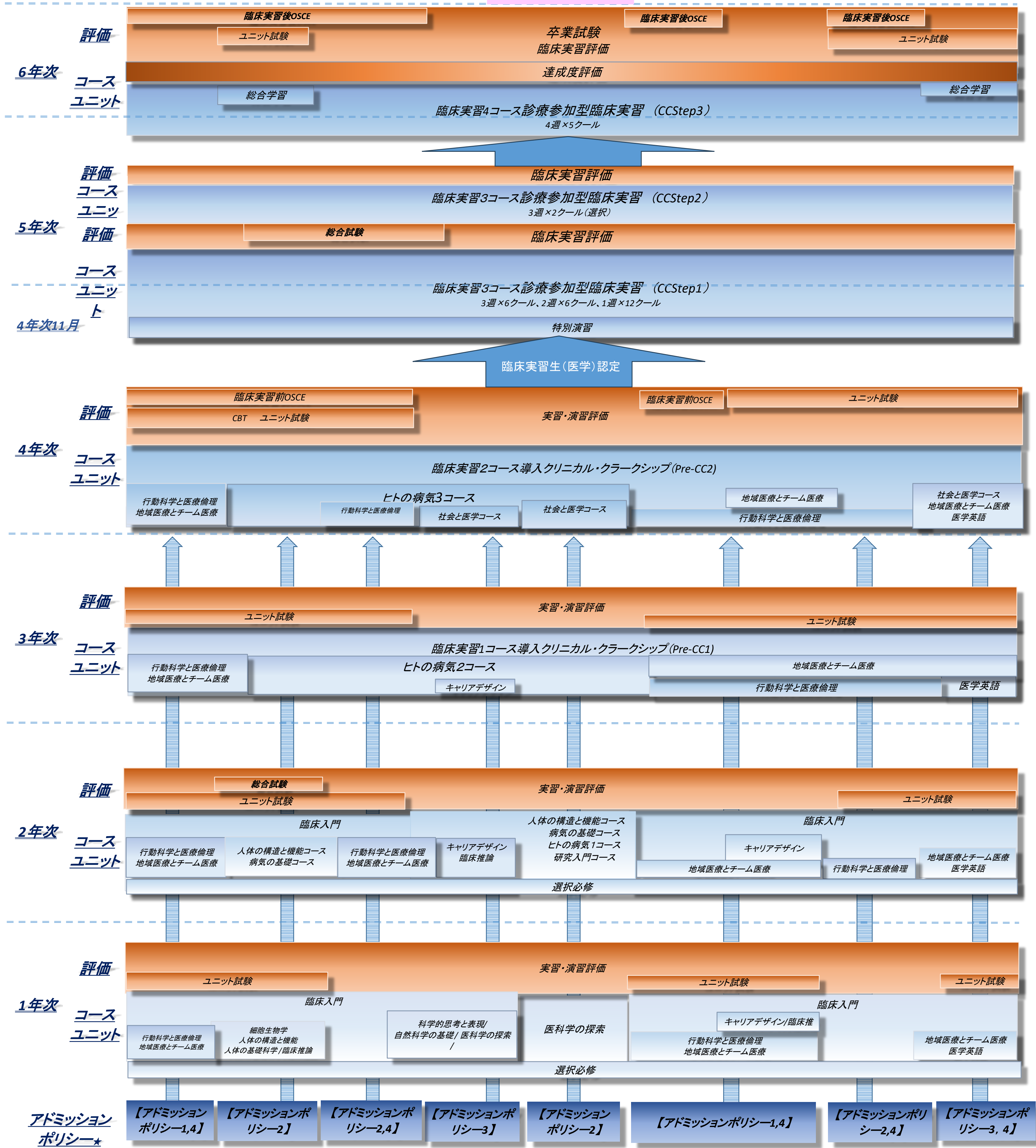
それぞれのユニットでは、マイルストーンの達成以外の目標も設定されており、ユニットごとに適切な評価方法を用いて成績評価が行われます。マイルストーンの達成は、ユニットごとの成績評価とは別のものとして、個別に評価されます。マイルストーンが 1 つでも達成不十分と判断された場合には、そのままの状態では進級できません。達成度が不十分な学生については、必要な補習を行った上で再評価を実施し、マイルストーンの達成を確認します。

# 令和8年度 埼玉医科大学医学部 履修系統図 (令和8年度入学生)

埼玉医科大学医学部は、専門的な知識と技能及び高い倫理性を身につけた実地臨床医家を育成することを目的とし、更に進んで医学の発展に寄与することによって、広く人類の健康と福祉に貢献することを使命としている。「建学の理念」にあるすぐれた実地臨床医家には、専門領域にとどまらず、患者を中心に考え、心理社会的背景をふまえて包括的に患者・生活者をみる姿勢が求められる。「建学の理念」を敷衍し大学の使命を明確にした「埼玉医科大学の期待する医療人像」を目指し、以下に定める「埼玉医科大学医学部のコンピテンシー」のすべてを修得した者に対して、学士（医学）の学位を授与する。

ディプロマポリシー

コンピテンシー



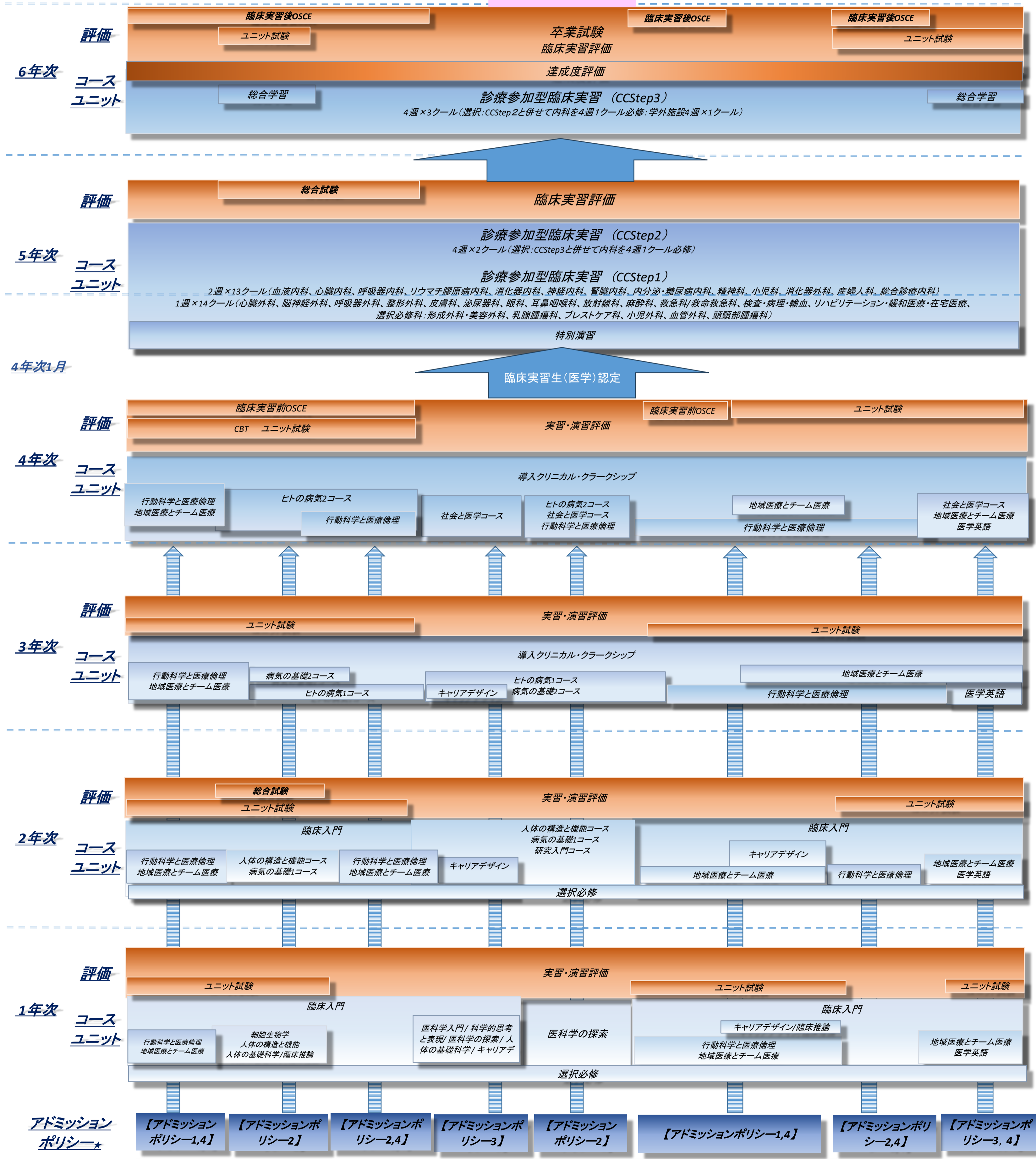
- ★【アドミッションポリシー】
1. 調和のとれた豊かな人間性と生命への愛情を持ち、奉仕する精神を備えた人
  2. 医学を修得するのに必要な基礎学力と問題解決能力のある人
  3. 自ら考え求めて学び、医学・医療を通じて社会に貢献する意欲と情熱のある人
  4. コミュニケーション能力に富み、他者を尊重し、他者の立場で考え、協調して行動できる人

# 令和8年度 埼玉医科大学医学部 履修系統図

埼玉医科大学医学部は、専門的な知識と技能及び高い倫理性を身につけた実地臨床医家を育成することを目的とし、更に進んで医学の発展に寄与することによって、広く人類の健康と福祉に貢献することを使命としている。「建学の理念」にあるすぐれた実地臨床医家には、専門領域にとどまらず、患者を中心に考え、心理社会的背景をふまへ包括的に患者・生活者をみる姿勢が求められる。「建学の理念」を敷衍し大学の使命を明確にした「埼玉医科大学の期待する医療人像」を目指し、以下に定める「埼玉医科大学医学部のコンピテンシー」のすべてを修得した者に対して、学士（医学）の学位を授与する。

ディプロマ・ポリシー

コンピテンシー



- ★【アドミッションポリシー】
1. 調和のとれた豊かな人間性と生命への愛情を持ち、奉仕する精神を備えた人
  2. 医学を修得するのに必要な基礎学力と問題解決能力のある人
  3. 自ら考え求めて学び、医学・医療を通じて社会に貢献する意欲と情熱のある人
  4. コミュニケーション能力に富み、他者を尊重し、他者の立場で考え、協調して行動できる人